



新田の歴史が彩る  
日本のふるさと

# つがる市 議会だより



いよいよ夏本番、元気にプールで泳ぐ子供達

## 主な 内容

|            |      |
|------------|------|
| 平成19年度補正予算 | P 2  |
| 予算特別委員会の審査 | P 4  |
| 一般質問       | P 5  |
| 常任委員会の審査   | P 8  |
| 委員会の活動     | P 10 |

## 第11号

平成19年8月発行  
発行/つがる市議会  
編集/議会だより編集委員会

# 平成19年度一般会計補正予算 2,033万円を追加

## 一般会計補正予算案を可決

国際交流員を1名増加・県道弘前、柏線道路建設工事費など

### 6月定例会の概要

平成19年第2回定例会が6月8日から6月19日までの12日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成19年度一般会計補正予算や58議案、請願3件、陳情3件などを審議しました。

一般質問には、5名の議員が登壇、市政運営に関わる活発な議論が行われました。

本会議で付託された議案や請願など各常任委員会で慎重な審査が行われいづれも本会議で可決されました。

### 一般会計補正予算

平成19年度一般会計補正予算は、歳入・歳出ともに2,033万6千円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ219億2,033万6千円となりました。

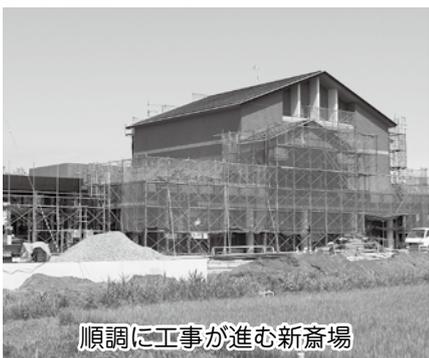
今回の一般会計補正予算は、4月の人事異動による人件費の調整や緊急を要する事業など、限定した補正予算となっており、主なものは次のとおりです。

#### ●自治会連合会設立補助金

60万円



県道弘前・柏線の工事現場(柏じなっばり温泉横)



順調に工事が進む新斎場

#### ●国際交流費

8月から国際交流員を1名増員するものです。

378万円

#### ●県道弘前柏線道路建設整備工事費

工作物の移転工事費として

589万円

#### ●おらほの湯井戸水ろ過機改修工事費

森田地区にある温泉施設の改修工事費として

114万円

#### ●清水保健福祉館フェンス改修工事費

車力地区にある清水福祉館の駐車場フェンスの改修工事費です。

122万円

#### ●新斎場管理委託料

10月から稼働予定の新斎場火葬業務委託料

721万円

#### ●小学校英語活動等推進事業委託料

26万円

#### ●小学校通学措置費

瑞穂小学校スクールバス補助員賃金

60万円

### 特別会計補正予算

平成19年度各特別会計補正予算については、4月の人事異動による人件費の調整が主なものとなっております。

#### ●農業集落排水事業特別会計

227万3千円を減額  
予算総額

#### ●公共下水道事業特別会計

6億7,363万7千円  
337万3千円を減額  
予算総額

#### ●国民健康保険特別会計

8億383万8千円  
472万7千円を追加  
予算総額

#### ●老人保健特別会計

5億3,576万9千円  
236万9千円を追加  
予算総額

#### ●介護保険特別会計

35億4,353万3千円  
2,793万2千円を追加  
予算総額

#### ●介護保険特別会計

2,793万2千円を追加  
予算総額

31億7,338万千円

●宅地完成事業特別会計

427万千円を追加

予算総額

1,896万4千円

専決処分の承認

平成18年度の一般会計をはじめ、各会計の補正予算や譲与税・交付金などが確定し、また、国庫支出金や市債など、事業費の確定により、補正を行っております。

●一般会計補正予算

2億2,797万4千円を

減額

予算総額

206億7,488万4千

円

●農業集落排水事業特別会計

126万4千円を減額

予算総額

7億1,297万6千円

●公共下水道事業特別会計

51万円を減額

予算総額

7億3,668万4千円

●宅地完成事業特別会計

363万9千円を減額

予算総額

1,683万3千円

●つがる市障害者自立支援条例の一部を改正する条例

障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の利用者負担額を軽減させ、障害者に対する支援に柔軟に対応するため所要の改正を行うものです。

●つがる市税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い減価償却制度の残存価格の廃止、その他所要の改正を行うものです。

●つがる市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令等の改正に伴い、基礎課税額の限度額を56万円に改正するものです。

条例の改正・一部改正

●つがる市防犯指導隊設置条例を廃止する条例

防犯指導隊に関わる任命、事業活動をつがる市防犯協会の組織が主体となつて行うことからこれまでの設置条例を廃止するものです。

●つがる市高齢者福祉サービス事業実施条例の一部を改正する条例

在宅の高齢者に対し、家族介護慰労金等の福祉サービスを実施するため改正するものです。

●つがる市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険運営協議会の委員の定数を5人から4人に改めるものです。

規約の変更

●青森県交通災害共済組合規約の変更について

地方自治法の一部改正に伴い組合規約の関係する部分について関係団体と協議するため改正するものです。

●青森県市町村職員手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員手当組合規約の変更について

地方自治法の一部改正に伴い組合規約の変更について関係団体と協議するため、改正するものです。

●青森県市長会館管理組合規約の変更について

地方自治法の一部改正に伴い組合規約の変更について関係団体と協議するため、改正するものです。

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

青森県後期高齢者医療広域連合が市町村総合事務組合に加入したことにより、規約の変更について関係団体と協議するため、改正するものです。

その他の案件

●清水辺地総合整備計画を定めることについて

富苑町清水辺地における公共施設の総合的、計画的な整備を促進するため、計画を定めるものです。

●路線再編成による市道路線の廃止の件

市道富苑8号線を平成19年度に整備、完了する計画です。

●路線再編成による市道路線認定の件

道路台帳整備に伴う各地区の市道を廃止し、新たに路線番号を付け認定するものです。

●つがる市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の件

公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定を締結するものです。

契約の締結

●つがる市防炎行政無線統合整備第3期工事

防炎行政用無線の統合工事の請負契約を締結するものです。

・工事の場所

木造地区ほか

・請負代金

2億3,625万円

・契約の相手方

日本電気興業株式会社

・契約の方法

指名競争入札

・工期

平成20年3月14日

## 人事案件

●人権擁護委員の推薦について

- ・稲垣町繁田 黒滝 清昭
- ・木造丸山 工藤みどり
- ・木造林 葛西 弘和
- ・木造菊川 小笠原金美

## 意見書

本定例会に次の意見書が議員提出議案として提出され、原案のとおり可決され内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣に要望いたしました。

●アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める意見書

●日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と自給率向上にむけた施策の強化を求める意見書

## 予算特別委員会の審査

ここでは予算特別委員会で  
の主な質疑応答などの内容を  
報告いたします。

### 専決処分した事項

●平成18年度一般会計補正予算

問 佐藤孝志委員

財政調整基金やその他の基金残高はどれくらいあるのか。又、歳入・歳出の決算見込額は、最終的にどれくらいになるのか

答 山本財政部長

財政調整基金は、平成18年度末で2億7,100万円です。ただ、19年度当初予算や今回の補正で6,770万円を繰入れることにより、残高は2億380万円になります。減債基金は、1億1,000万円です。その他一般会計で管理している各種基金全体では、6億8,200万円となっております。

歳入歳出の決算見込み額

## 補正予算の質疑応答

●平成19年度一般会計補正予算

問 松橋勝利委員

県道整備工事に伴う移転補償金の内容について、又、旧町村の職員給与の格差は改善されているのか

答 成田福祉部長

成田総務部次長  
県道弘前・柏線バイパス工事に伴う補償金で、老人福祉センター、じよっぱり温泉の境界のフェンス140mなどの移転費用です。

旧町村の職員給与の格差については、平成18年度に約3分の1を調整しました。残りの3分の2については、未調整ですが関係者と協議をしております。ただ、最終的な結論に至らない問題として財源がありませんが、協議をして早く調整できればと考えております。

問 齋藤進委員

国際交流員を増員して

いるが英語教育に絡んだものかそれともXバンドに関連するものなのか。又、合併後の奨学資金の制度について

答 山本財政部長

半田教育委員会次長  
国際交流員は、地域住民に対する語学指導や国際交流を担当しておりますが、国際交流を活発にすることが1名から2名体制にすることです。又、Xバンドに直接関係はしません。Xバンドの方が100名ほど居ますので、これも理由の1つになると思っております。

問 松橋勝利委員

生活保護世帯数はどれくらいか、又、車力のふれあい会館で夜中、警報ブザーが鳴る騒ぎがあり、



JR木造駅前に設置されている観光案内板

問 松橋勝利委員

観光案内板の費用を4500万円ほど減額しているがこの内容について

答 松橋勝利委員

市内の観光案内板28箇所、又、老朽化等により解体の必要な2箇所の撤去整備に3,450万円を予算化しておりますが、最終的な支出が抑えられたことにより減額したものです。

それを聞いた人が消防署に行ったが出てこなかったと言う話を聞いたが、経緯について説明してもらいたい。



**答**  
成田福祉部長  
嶋田消防長

4月1日現在の被保護世帯数は527世帯、686名という状況となっております。

つがる市消防署の各所属では、2名体制で24時間勤務をしております。又、2時間交替です。空けることは絶対にあります。直ちに確認をし早急に処置したいと思っております。

**問**  
齋藤進委員

小学校英語活動推進事業で稲垣町の豊川小学校で英語教育を試みるようだが、なぜ豊川小学校が選定されたのか。

**答**  
小林教育長

英語活動等国際理解活動推進事業の取り組みで全国600校、青森県では、三沢市を除く9市から1校ずつ推薦するもので、教育事務所の方から豊川小学校を指定したいという連絡がありました。市として特段階の理由もありませんので、選定したわけです。



## 一般質問 ここが聞きたい



成田 克子  
無所属

◆災害時における要援護者台帳の作成について  
◆つがるブランド農産品について

**問**

災害弱者にあたる一人暮らしの方や身体の不自由な方が、災害時に避難できるように要援護者台帳を作成し、安全に避難できるように支援体制作りが急務と考えるが

**答**

福島市長

つがる市も昨年災害台帳を作りました。そして災害時の要援護者制度もあり、この制度に従い準備を進めていきたいと考えている。

また、ひとり暮らしの高齢者や障害者、乳幼児や妊産婦等の方々を想定した地域災害計画も整備している。

ただ、災害時に即、これら災害台帳や災害計画のとおり、対応できるか、という事になりますと必ずしも万全な状況とは言えないと考えている。このことから、今後の対応として、9月に当市で行われる青森県総合防災訓練、これを機に関係機関や地域の支援団体等の連絡を密にして、災害時要援護者制度に基づいた地域の支援者を中心に支援体制を整え、共に、台帳や地図の作成について、他の事例を参考に作成する方向で検討したいと考えております。

**問**

つがるブランド8品目の栽培基準の策定や認定申請の募集状況と今後の対策について伺いたい

**答**

松橋経済部長

ブランド農産物の栽培基準につきましては、栽培基準検討委員会において策定され、3月中旬から下旬にかけてつがる市内各地において説明会を開催してきたところでございます。また、栽培基準に基づいた農産物をブランドと認定する、ブランド申請件数については、メロンが36件、スイカが40件、ねぎ1件、また、加工品については、12件で合計89件の申請がされております。

今後、これらの申請をブランドと認定する場合には、認定委員会を開催し審査する事になります。そして、認定された農産物、加工品につきましては、「つがるちゃん」の認定シールを貼付し、消費者の手に届くよう市場や販売店と協議をして、販売に努めております。また、申請に間に合わなかった品目もあるということで、2次募集も検討したいと考えております。

# ここが聞きたい



松橋 勝利  
無所属

- ◆ 雇用対策について
- ◆ 教育問題について
- ◆ 行政問題について

**問** 雇用対策に取組むことにより、地域経済が発展すると考えますが、現在の市における雇用対策はどうなっているのか

**答** 福島市長

雇用対策として、企業誘致活動を進めております。今年3月の定例会において、企業誘致を促進するための条例改正を行っております。進出企業と地元企業への優遇制度の強化も図りました。また、つがる出身者で構成されている東京の「まほろば会」という団体からも、情報提供を受け企業誘致活動を進めているところとあります。さらに、つがる市誘致企業連絡協議会もあり、市役所や商工会が一体となって情報交換をしたり、連携強化を図り、雇用拡大に向けた取り組みを行っております。

**問** つがる市の学校図書購入費と図書の利用状況について

**答** 半田教育委員会次長

学校の図書購入費は、教育振興費の中の教材用備品として小学校は300万円、中学校は180万円を配分しております。一校あたりに直すと、小学校は23万円、中学校は26万円となっております。また、児

童、生徒の図書の利用状況等については、小学校は授業の始まる前、15分前後の読書タイムが各校で実施され、本に親しむ時間を設けております。中学校においても朝の読書の時間や読書週間ということで図書を利用することは勿論、貸し出しや調べる学習で活用している状況にあります。

**問** 旧町村の公文書の保管状況はどうなっているのか、また、今後の対応策について

**答** 長谷川総務部長

合併時に旧町村から引き継いだ公文書につきましては、文書管理規定、保存規定に基づいて年度毎、項目別に所定の書庫や倉庫に管理しております。

合併時には、旧町村にも重要な書類や公用的に使用される書類など、市の各部署においてすべて保管するという事としており、比較的軽微な書類については、各支所に管理しております。今後の対策としては、文書区分に基づいて整理を徹底し、将来的には、時代に即応した公文書の電算化を図り、紙の書類を減らしていきたいと考えております。



三戸 昭男  
無所属

- ◆ 弘前・柏線のバイパスについて
- ◆ 五所川原・妙堂崎線について

**問** 現在、弘前・柏バイパス線の工事が県の土木で発注され、柏福祉センター手前まで工事が進んでいますが、この先にある「じよっぱり温泉」への取り付け工事はどうなるのか、又、この路線はじよっぱり温泉や福祉センターを利用して人が多く交通事故防止のため、信号機の設定が必要と考えるが、設置計画があるのか

**答** 今建設部長、長谷川総務部長

弘前・柏線バイパスへの取り付け道路の計画でございますが、現在老人福祉センターとじよっぱり温泉から東側へ取り付けている道路がありますが、そのままの位置に取り付ける予定となっております。

幅員は8mから10m、又バイパスは車道幅員が6.5m、歩道幅が3.5mとなっております。全線の工事完成予定は、平成19年度の予定となっております。

平成19年度に完成、開通するということで、県の西北地域県民局地域整備部と歩調を合わせて要望してまいりました。その決定は県の公安委員会決定するということで確認したところ現在まだ最終決定には至っていないということでございますので、開通までに整備してもらえよ

う要望していきたいと考えております。

**問** 五所川原・妙堂崎線についてでございますが、昨年、古田川橋梁新設工事が完成しておりますが、橋梁からの道路幅員・延長をはじめとする工事概要はどうなっているのか

**答** 今建設部長

五所川原・妙堂崎線の概要についてですが、道路延長は約400mとなっております。又、車道の幅員は6m、歩道幅は2mとなっております。当該事業は今年度で完成の予定となっておりますが、計画ではこれ以上の道路延長や用地の買収計画はないということです。



柏・妙堂崎線

# 一般質問



三上 洋  
無所属

## ◆農業問題について

**問** 品目横断的経営安定対策事業とはどのような事業なのか、又、市としてどのような指導をしていくのか

**答** 福島市長、松橋経済部長

事業の内容は大きく2つの対策があります。これまで一俵当たり数千円の補助が個々の農家にされていましたが、19年度からは、補助金抜きの価格で農家が販売することになります。品目横断的経営安定対策に加入した認定農業者、集落営農組織については、過去に小麦・大豆を作付けし、販売した実績がカウントされ、国から補助金が交付されるメリットがあります。もう1つは価格安定事業のような水稲、麦、大豆の価格が大幅に下落した際に所得補償するものです。この制度の積み立ては、10aあたりの収入基準を定め、その9%分を国と生産者が3対1の割合で積み立てするものです。指導方法については、この事業に加入できるよう認定農業者及び集落営農の組織の育成など確保に努めております。

**問** 新品種の農産物を開発するため、弘前大学などと連携し、独自のブランド農産物を研究、開発す

る考えはないのか

**答** 福島市長

来年から弘前大学へ職員を派遣して、研究にあたらせる計画を立てております。

具体的な農産物、品種等については、はっきり決まっていらないが、これから検討していきたいと考えている。

**問** 農業就業人口の高齢者の割合が増加傾向にあるが、市における65歳以上の農業就業人口はどれくらいなのか。又、経営耕地の規模で、5ヘクタール以上の農家数と1ヘクタール未満の農家数は

**答** 松橋経済部長

65歳以上の農業就業人口ですが、2005年度の農林業センサスで、3100人ほどおります。全体の約42パーセントを65歳以上が占めている状況です。又、5ヘクタール以上の農家数は710戸、1ヘクタール未満の農家戸数は865戸となっております。いずれにしても、高齢化が進行しており、大変農業も厳しい状況にあると考えております。



伊藤 良二  
無所属

## ◆中核病院について ◆道路行政について ◆つがる地球村について

**問** 平成23年度開業予定の中核病院建設について計画どおり開業する見通しがあるのか、又、市立成人病センターの病院機能の存続について見通しはどうか

**答** 福島市長

つがる西北五広域連合において、当初平成23年度開業を目指し、中核病院の基本設計、業者の選定をいたしました。財政事情などもございまして、白紙撤回を決めました。また、今年度、既存周辺の自治体病院の機能分担や財政負担問題など、未決定部分を固めた上で、計画を進めていくことから、病院の開業の時期については、若干ずれ込むことが予想されている。中核病院は、重症患者、専門外来として検討されており、入院期間についても将来的に2週間位になるのでは、という事も予想されることから、中核病院が満床で入院できない患者さんのためにも、成人病センターは70床位のベットを持ち、検診なども行える医療機関としての機能の存続をこれからも訴えていきたいと考えている。

**問** 津軽自動車道がつがる市にできる見通しについて、又、市役

所前343道路と稲垣方面の広域農道をつなぐ工事は進んでいるように思うが、いつ頃開通する予定なのか

**答** 松橋経済部長

津軽自動車道については、五所川原西バイパスと称し、岩木川を越え柏ジャスコ近くの国道101号につなぐ工事は始まっております。五所川原・鯉ヶ沢間については、基本計画から整備計画への格上げがされていないことからこれまで通り、国に對し要望していきたいと考えております。市役所前343道路と広域農道については、今年度工事が完成しますが、交通事故防止のため、十字路用の信号の付替え等により、実際の開通は平成20年4月頃になると考えております。

**問** つがる地球村について、株主を市民から募集するなど増資する考えはないのか

**答** 福島市長

経営状況などを見ながら増資も考えなければならぬと思うが、第3セクターとしての条件もあることから、市が大部分を持つようになると考えている。

# 常任委員会の審査

ここでは各常任委員会での主な質疑応答などの内容を報告いたします。

## 建設常任委員会

●つがる市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の件



浄化槽センター

**問** 外崎栄委員  
下水道の供用開始が増え、平成23年には木造の浄化槽の処理能力が越えるということで、処理槽を増設するということが、加入率を促進させなければ、厳しい運営になると考えるが財政的にど

うなっているのか、又この処理施設には森田も計画に入っているのか

**答** 相馬下水道課長

木造の公共下水道の加入率は、現在37.8%です。これは毎年処理区域を拡大しているため、40%を割ったり超えたりという状況となっております。今は経営が厳しく、一般会計から繰り入れしておりますが、財政と協議しながらやっていきたいと考えています。又、この処理施設には森田は入っておりません。計画では、独自の処理場を建設する計画です。

**問** 佐々木直光委員

2,000立方メートルを処理する能力に対し、1,600立方メートル入ってくることを考えると、かなり加入率があるのではと考えるが連動していないのか

**答** 相馬下水道課長  
現在2,000の処理能

力に対し、加入している世帯の流量1,600位の流量が入ってきているということ、加入率とは連動していないということです。

**問** 長谷川徹委員

加入率を高めるための対策をとっているのか

**答** 相馬下水道課長

加入率を上げるための施策として融資斡旋制度を設けております。合併前は供用開始から3年の融資斡旋でしたが、今は5年まで延長しております。ただ、加入率向上のための特効薬はなく、地域住民の環境保全に対する意識が変わらなければ、加入率も向上しないのではと考えています。又、国も下水道等の加入率が悪いということから、新規工事については、地域住民の確実な同意書を取らなければ新規着工を認めない状況になっております。

●路線再編成による市道の路線廃止の件

●路線再編成による市道の路線認定の件

**問** 外崎栄委員

農道など整備をするため全ての市道の路線を廃止して、認定するのはか

**答** 北澤建設部次長

合併前の旧5町村の道路台帳にはそれぞれ路線番号1番があるわけですが、道路を管理する上で支障あることから、一本化するものです。



農道

## 経済常任委員会

●アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める陳情

**問** 今 彰造委員

国民の健康を守るためには、このアメリカ産牛肉の輸入条件を緩和しないで、検査の継続を求めているものだが、国の緩和策は確定されたのか

**答** 成田経済部次長

今まで、全箱検査をやっておりますでしたが、全箱検査をしないで、特別問題のある業者の分だけで終わらせるということが確定されております。

## 教育民生常任委員会

●つがる市障害者自立支援条例の一部を改正する条例

**問** 佐藤孝志委員

この条例の一部改正の具体的内容について

**答** 成田福祉部長

障害者自立支援法が始まる前から五所川原市の布施病院、鶴田町の飛翔食房を長年利用してきましたが、10月から市町村事業となり、事業費を1割負担する事になっておりましたが、

西北五広域構成市町で無料で実施する内容となっております。

**問** 佐藤孝志委員

鶴田町の飛翔食房は、精神障害者の通所施設ですが、精神障害者だけでなく、知的障害者も対象となるのか

**答** 成田福祉部長

原則、精神障害者ということでご説明しましたが、知的障害者も利用できる内容となっております。事業内容として、日常生活の援助活動支援や相談などがありまして、精神障害者だけではなく知的障害者の方についても、活用できる内容となっております。

**答** 長谷川係長

現在、準備を進めているところですが、障害者の方で在宅で寝たきりの方や病院へ通うことが出来ない方のところに医師の派遣をお

願ひし、障害手帳の診断並びに在宅の福祉手当の支給のための診断が出来るよう進めているところであります。又、旧小学校を活用した地域活動支援センターで、様々な福祉事業を展開している所は、他にないことから利用を促進させていきたいと考えております。

●つがる市高齢者福祉サービス事業実施条例の一部を改正する条例

**問** 佐藤孝志委員

家族介護慰労金の支給実績、配食サービス事業や寝具乾燥消毒事業の内容等について

**答** 成田福祉部長

家族介護慰労金の平成18年度の支給実績は1件ございます。又、配食サービスは市の社会福祉協議会、柏の桑寿園、木造地区の食生活改善推進委員会、つがるにすぎた農協などに委託をし、概ね65歳以上の1人暮らしの方に、1食300円で、月・水・金の週3回サービスを行っております。寝具の乾燥消毒サービ

スは、五所川原市のリネンサプライ協業組合が市の指定業者で、布団1組、乾燥で300円。水洗いは1回1,000円で、利用回数は月1回ということとなっております。



専用トレイに盛り付けられる配食サービス

●つがる市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**問** 成田克子委員

国民健康保険運営協議会委員の定数を削減する改正案ですが、委員にはどのような方が選ばれているのか

**答** 鶴賀谷民生部長

今までは、旧5町村の地区から、国保に加入されて

いる方から選ばれておりましたが、4人になるということですが、この他、議員の方、医師若しくは薬剤師など3部門、4人ずつの12人体制になるということです。

**問** 佐藤孝志委員

3人を削減することによる削減効果は

**答** 鶴賀谷民生部長

3人削減による費用対効果については、会議の出席報酬や東北大会参加旅費など、年間予算で、27万3,000円の削減になると考えています。

### 総務常任委員会

●つがる市税条例の一部を改正する条例

**問** 安田裕委員

この条例の改正と直接関係はないが、税源移譲に伴い市民税が非常に高くなったということ、市民の方の問い合わせはどれくらいあるのか

**答** 山本財政部長

税源移譲に関わる住民税の問い合わせ件数は、6月1日から15日までの間に、直接窓口に来た方は本庁、支所を合わせ102件です。また、電話による問い合わせは116件来ております。

**問** 白戸勝茂委員

市民税の課税基準日はいつなのか

**答** 山本財政部長

住民票の登録が1月1日現在、つがる市にあるとつがる市で課税するということとなります。

●つがる市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**問** 安田裕委員

この改正により、最高限度額を53万円から56万円に変わるわけですが、今までの最高限度額53万円に該当する世帯、及び56万円に該当する世帯数はどれくらいか、又、普通世帯ではどれ位の引き上げ額になるのか

**答** 鶴賀谷民生部長  
今年度で試算した場合、53万円に該当する世帯は348世帯、56万円は、290世帯が該当するという試算が出ている。又、引き上げ額は、一人当たり7,800円、1世帯当たりでは2万円ほど増額になる見込みです。

●清水辺地総合整備計画を定めることについて

**問** 安田裕委員

この辺地計画は、車力の清水地区と木造地区の出来島地区が対象となるということだが、出来島地区にはこの計画はないのか

**答** 山本財政部長

総合整備計画というのは、公共的施設の整備が必要となった場合に、財政的な理由に基づいて定めるもので整備が必要となった場合、出来島地区においても整備計画を定めることはあり得ると考えている。

## 委員会の活動

### 経済常任委員会

#### 定期観光バスツアーコースを視察

経済常任委員会は、6月15日、ベンセ湿原や出来島海岸の埋没林など市内の名所を巡る定期観光バスツアーのコースを視察しました。

この定期観光バスツアーは6月から7月までの1ヶ月間開催しており、今年からAコース、Bコースに分け、つがる市の自然を満喫、散策できるコースとなったことから、視察を行ったものです。今回は、B

コースを視察し出来島埋没

林やニッコウキスゲが咲き誇るベンセ湿原などを視察し、現地までの道路状況や駐車場など、ツアー客らが安全に楽しめるコースとなっているか、又、整備の必要性などについて視察しました。

又、ベンセ湿原は壮大な敷地にニッコウキスゲや野花菖蒲が咲き、自然の雄大さを満喫することが出来ることから、これら自然景観の美観を損なうことのないよう整備を進めていきたいと考えております。

又、県内外につがる市の四季を通した魅力をPRすると同時に「つがるブランド」で進めている地場産品の良さを子供から大人まで幅広くPRし、直接農業生産者と観光客との交流を進め、消費者につがるブランドの良さが浸透するよう、販売体制の強化を図っていききたいと考えております。



定期観光バスツアーの目玉となるベンセ湿原(上)と埋没林(下)



## 建設常任委員会

### 公営住宅の建設予定地を視察



担当者より説明を聞く委員

建設常任委員会は、6月14日の委員会終了後、平成19年度公営住宅の建設が予定されている各地区の状況を視察しました。

車力地区の富苑2号団地は1棟2戸、森田地区の第2若緑団地には4棟8戸、かしわ団地には、10戸、特賃3戸の公営住宅建設が予定され、完成は平成19年12月上旬の予定となっております。

これまでの公営住宅は、住宅に困窮する方々の居住の安定を図るという役割から、量

的な供給が優先されてきました。しかし今後は近年急速に進展している少子高齢化に対応し、高齢者対策など住宅政策が地域の活性化やまちづくりの柱となるよう調査研究し対策を講じていきたいと考えております。



## 総務常任委員会

### 統合により廃校となった小学校など、市が所有する遊休地を視察

総務常任委員会は、6月29

日の委員会終了後、小学校の統合により廃校となった校舎や市有地などを視察しました。

全国的にも少子化や過疎化などで小・中学校の閉校が各地で相次いでおり、「廃校施設」を地域の財産として、有効利用しようとする動きが全国各地で活発化しております。又、現在の厳しい財政状況を踏まえ、未利用地の積極的な処分を推進し、管理費の削減と売却収益による財源の確保、土地の有効活用を図るため現地の視察を実施しました。

つがる市には、現在4校の

学校施設跡地がありますが、いずれも老朽化が激しく、地震など災害に耐える強度がない

ため、地域づくりや人づくりの拠点となる施設として活用することは難しいと考えております。しかし、現存する建物を放置することは、災害に加え防犯面で、市民生活の安全を脅かす恐れがあることから、今後の取り組みとして、校舎の解体や売却など効率的に行っていくたいと考えております。



委員が遊休地等の状況を確認する



## 基地特別委員会の設置

6月19日の本会議において、基地対策特別委員会が設置されました。

在日米軍再編に伴う米軍車力通信所及び航空自衛隊車力分屯基地に関わる市民生活の安定対策について調査・研究するため、全議員26人で構成する基地特別委員会を設置しました。

委員長 白戸 勝茂  
副委員長 山本 清秋

## 行政視察

- 5月8日 静岡県泉町議会来庁
- 8名 地産地消のまちづくりについて
- 5月15日 秋田県由利本荘市議会来庁
- 10名 議会だよりの編集について
- 6月28日 岩手県宮古市議会来庁
- 9名 デジタル防災行政無線について
- 7月26日 愛媛県西条市議会来庁
- 14名 一般廃棄物最終処分場について

# Xバンドに絡む交付金を要望

去る5月23日、参議院本会議で「在日米軍再編促進特別措置法」が可決・成立しました。これを受け6月5日、福島市長と高橋議長は、東京都にある防衛施設庁の北原長官を訪ね、車力分屯基地に配備された「Xバンドレーダー」に絡む交付金の支給や地域住民の安全対策等について陳情しました。この席には、木村太郎衆議院議員も同席し、Xバンドレーダー配備受諾までの経緯や市の対応などを説明、理解を求めました。



市の状況、交付金の支給などを求めた福島市長

在日米軍再編促進特別措置法は、原則10年間の時限立法で、在日米軍の再編に伴って負担が増える市町村に対し、負担の大きさに応じた額が交付されます。

防衛省は、平成19年度予算に再編交付金約51億円を計上しており、つがる市は日本で初めて配備されたXバンドレーダーの配備を受諾し、また、米軍関係者ら百数十人が市内に居住している状況などを北原長官に説明し、この新たな再編交付金の支給と使途



市の要望に対し、交付金の考え方などについて述べる北原長官

の拡大、いわゆる箱物だけでなく、防犯対策や環境など住民生活の利便性向上、産業振興などにも使えるよう求め、北原長官に要望書を提出しました。

これに対し北原長官は、つがる市の協力で感謝の意を表し、また、新たな交付金については、現在、基準作りを進めていることから、具体的な明言は避けたものの、交付金を支給へ前向きな姿勢を示していました。

## 議会の動き

| 4 月 |                              |
|-----|------------------------------|
| 18  | 経済常任委員会 管内行政視察               |
| 19  | 農産物ブランド化推進会議                 |
| 23  | 市議会だより編集委員会                  |
| 5 月 |                              |
| 8   | 静岡県長泉町議会行政視察来庁               |
| 15  | 秋田県由利本荘市議会行政視察来庁             |
| 18  | つがる市商工会通常総会                  |
| 22  | しゃこちゃんボランティア連絡協議会 総会         |
| 25  | つがる市長寿大学開講式<br>つがる市観光協会 定期総会 |
| 6 月 |                              |
| 5   | 議会運営委員会                      |
| 8   | 平成19年第2回定例議会（～29日）           |
| 12  | 予算決算特別委員会                    |
| 14  | 建設常任委員会<br>経済常任委員会           |
| 15  | 教育民生常任委員会<br>総務常任委員会         |
| 23  | 車力分屯基地27周年記念行事               |
| 24  | つがる市消防観閲式                    |
| 28  | 岩手県宮古市議会行政視察来庁               |
| 29  | 国道101号津軽バイパス整備促進期成同盟会        |

## 市議会を傍聴してみませんか

傍聴は、どなたでもできますので  
お気軽にお越しください。

次の定例会は9月の予定です

なぜかイノシシ年は大災害が多い。県内にも甚大な被害をもたらした24年前（昭和58年）の日本海中部地震、そして12年前（平成7年）の阪神・淡路大震災と大災害が発生している。今年も7月に起きた新潟県中越沖地震、いずれもイノシシ年に発生している。

災害は、「忘れた頃にやってくる」とよく言われるが、これだけ大災害がイノシシ年に起きると偶然とはいえ不気味なものである。幸いつがる市は、災害の少ない土地柄であるが、災害が発生してからの対応や、被害を未然に防止する対策を一人一人が確認することが大事。

今年、青森県総合防災訓練が、我がつがる市で9月に行われる。いつ見舞われるかわからない災害の被害を最小限に食い止めることができるかは、日頃の備えと、緊急時における適切な行動がとれるかにかかっている。ぜひこの機会に防災訓練に参加していただきたい。

最後に大型台風4号、新潟中越沖地震に見舞われ、被災した方々に対し、お悔やみ申し上げます。

## 編集後記